

様式（細則 5-2）

平成26年10月2日

浜田市議会議長 原田 義則 様

議員名 野藤 薫



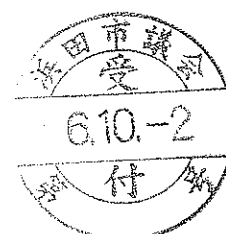
## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究を行ったので、その結果を報告します。

会派 創風会

### 記

1. 期 間 平成26年8月18日～8月20日
2. 視察又は訪問先
  - (1) 長崎県大村市 おおむら夢ファームシュシュの取組  
内容 自然・農業体験型観光と地域の担い手連携について
  - (2) 熊本県球磨郡山江村 時代（とき）の駅むらやくば  
内容 グリーンツーリズムと地域連携について
  - (3) 熊本県人吉市 人吉市役所、農家レストラン「ひまわり亭」  
(ひまわり亭と人吉・球磨グリーンツーリズムの取組について)  
内容 「女性の自立とグリーンツーリズムの取組による地域活性化」
  - (4) 福岡県太宰府市 九州国立博物館  
内容 文化財修復と和紙の役割について
3. 参加者 串崎利行、野藤薫、上野茂、飛野弘二、布施賢司、平石誠  
渋谷幹雄、西田清久
4. 調査経費 31,836円



## 5. 各視察先の研修内容

【農業生産法人 有限会社シュシュ】代表取締役 山口成美氏

### 〈1〉視察に至った経緯

浜田市は豊かな自然に恵まれ、様々な農産物や海産物が有ります。  
この資源を有効に活用して、さらなる交流人口の増大と地域の活性化を願い、『地域農業の活性化と後継者の育成』を目指している おおむら夢ファーム シュシュの取組みを視察した。

### 〈2〉研修内容

#### ① 施設見学[長崎県大村市弥勒寺町486]

「おおむら夢ファーム シュシュ」

#### ② 山口成美氏と意見交換

視察当日は、大雨洪水警報も発令される状況の中、レンタカーで浜田市を出発しました。

昼前におおむら夢ファーム シュシュに到着、園内のぶどう畑のレストランを見学、平日にもかかわらず多くのお客様で賑わっていました。

レストランはバイキング形式で大人 1300 円で食べ放題、地域の様々な食材を提供し創意工夫が見られた。

地産地消、農業の6次産業化を目指して、周囲には各種収穫体験施設や農林水産物直売所（新鮮組）、パン工房、洋菓子工房、シャーベット工房など、若者や家族連れを意識したオシャレな建物が連なっている。

山口氏は大村市農協で営農指導員をしていたが、平成2年農協を退職し専業農家になった。高齢化による後継者不足、農地の荒廃への危機感から地区の有志40名と「福重地区農業農村活性化協議会」を設立、その中の8名の専業農家で、ビニールハウスの小さな農産物直売所「新鮮組」を始めた。

様々なアイデアで、常に前向き、モノを売るのではなく夢を売る、“年中夢求”と熱く語って頂いた。

### 〈3〉所感（まとめ）

山口氏は農漁水産業が持つ可能性を常に考えて、若い従業員がアイデアをどんどん出せるよう、教育をしておられた。

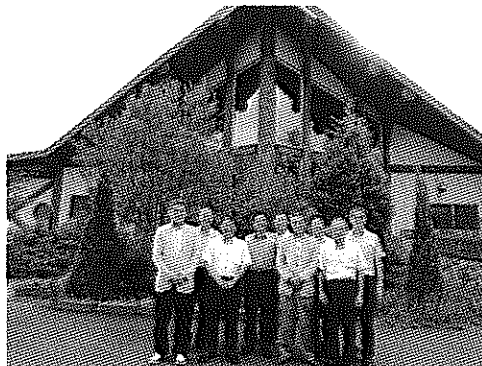
ものを売るのではなく夢を売ると言われるように、商品のネーミングなどもひとひねりされており、人との出会いを大切にして、大村市のグリーンツーリズムの民泊体験も応援されている。

行政、関係機関とも連携し、新たな商品開発も視野に入っているようでした。

おおむら夢ファーム シュシュの取組は、浜田市の道の駅や、瀬戸ヶ島地区などの構想にも参考になると思いました。



ぶどう畑のレストラン



おおむら夢ファームシュシュ

【球磨郡山江村】 山江村 内山慶治村長      山江村議会 松本佳久議長

#### 〈1〉視察に至った経緯

九州の人吉・球磨地方はグリーンツーリズムが盛んであると聞き、海山自然豊かな石見地域・浜田市の参考になればと最初に山江村の取組を視察しました。

#### 〈2〉研修内容

- ① グリーンツーリズムと地域連携について（時代（とき）の駅むらやくば）  
にて

山江村は現在、人吉・球磨グリーンツーリズム協議会に参加しているが、地域活性化に平成4年ボンネットバスを復活させ、各地からボンネットバスの大会を開催し地域活性化を図った。その後、グリーンツーリズムで特産品の栗を収穫する農業体験や、栗の加工品作りなど交流人口の増大を図った。

平成15年第1回グリーンツーリズムネットワーク全国大会（熊本）参加をきっかけに、地域からの様々な体験メニューが提案された。

また本場イギリスのグリーンツーリズムを研修する為、村から3名派遣した。

農業体験、収穫、加工の中で地域の食への関心も高まり「食を通じた交流」も始まった。

旧役場を「時代（とき）の駅むらやくば」レストランとして改装オープンした。

### 〈3〉所感（まとめ）

山江村で地域活性化のリーダーシップを取っているのは内山村長でした。

村長は元役場職員で、松本議長もバックアップしているそうです。

各地の大学ゼミのグリーンツーリズム体験研修も受入れているそうで、当日も関東の女子大生2名が意見交換に参加、彼女達は山江村は第二の故郷だと話してくれました。

そこに住む人と心のふれあい、地域の『うまい食』が有れば、真のファン作りに繋がると思いました。



村長、議長、大学生他



時代の駅むらやくば（レストラン）

## 【熊本県人吉市】人吉・球磨グリーンツーリズム協議会（人吉市役所）

農家レストランひまわり亭（本田節氏）と農家民泊

### 〈1〉視察に至った経緯

九州での先駆的な取組と言われる人吉・球磨グリーンツーリズム協議会は10市町村による協議会である。この取組や、中心的な存在の本田節さんのお話を聞く事と、農家民泊によりグリーンツーリズムの目的、「豊かな自然、歴史、文化などの多面的な資源を活用しながら、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」を視察研修した。

### 〈2〉研修内容

#### ① 「女性の自立とグリーンツーリズムの取組による地域活性化」

農家レストラン『ひまわり亭』代表 本田 節 氏

#### ② 農家民泊

最初に人吉市役所において人吉・球磨グリーンツーリズム協議会事務局の山本次長より、人吉市の説明と協議会の今日までの経緯と概要説明を受けた。

この協議会の設立経緯は、平成15年より人吉市を含む10市町村が構造改革特区「森林の郷 農林業げんき特区」としての認定を受けた事を契機に、都市農村交流事業への取組がなされた。

平成17年度にはこの取り組みに参加した農家の方を中心に「人吉市グリーンツーリズム推進協議会」が設立、農家民泊が始まった。

当初「田舎に泊まろう農業体験」として小学生の受入れをスタート、川遊びや虫とりなどで都会の子供達が感動する姿を見て、豊かな自然を再確認する事になった。

この農家民泊の為の研修の過程で、それぞれの地域と特色有る料理を持ち寄り、食の交流会（研修）を、ひまわり亭で開催する事になった。

市役所にて説明の後、ひまわり亭に移動し本田節氏より話を聞いた。

「ひまわり亭」は地産地消、食の交流拠点として立ち上げた。食、農を地域資源とした拠点、郷土の家庭料理をテーマにしている。

地域の高齢者の知恵が家庭料理に詰まっている。これがお金に、おこずかいになる。すると地域の中で自立出来る。ボランティアでは続かない。

怒涛のような、本田節氏の想いを聞く一方で有ったが、地域の魅力やそこに住む人の魅力がストレートに響いた研修で有りました。

その後、農家民泊のお母さん方がお迎えに・・・二つのグループに分れそれぞれの農家に向かい、夜が更けて行きました。

### 〈3〉所感（まとめ）

人吉市役所の事務局次長も、行政マンであるが、この事業に対し熱い想いを持っている。

地域の高齢化、農業の衰退に危機感を持ち、グリーンツーリズムに地域の活性化を託しているように見えた。

何にもないと思っていた田舎に、人が来る。当り前の食べ物に感激し、人の温かさに感動する。それが幾らかのお金になり、生き甲斐になる。

人吉・球磨地域でネットワークを組み、それぞれに本当の「おもてなし」が有ると感じた。「百聞は一見にしかず」で有る。



人吉市役所にて



ひまわり亭にて、本田 節 氏

【福岡県 太宰府市】九州国立博物館 学芸員

国宝修理装演師連盟 坂田理事長

### 〈1〉視察に至った経緯

ユネスコ文化遺産である浜田市三隅町の石州半紙は、国宝などの文化財の修復には欠かせない。

20日に国宝修理装演師連盟の坂田理事長が滞在されていると聞き、会派視察の最後になったが、九州国立博物館にて、視察研修を行った。

### 〈2〉研修内容

#### ① 「文化財修復と和紙の役割について」

国宝修理装演師連盟 坂田理事長より、九州国立博物館の収蔵庫と修復施設を案内して頂き、お話を聞く事が出来た。

収蔵庫と修復現場は、気温や湿度の管理がなされ、災害から文化財を守る為の、設計になっており、普段は見る事の出来ないものでした。

また大学で文化財の修復を専攻している学生も、実習に来ていて、修復の各段階の説明を聞く事が出来ました。

### 〈3〉所感（まとめ）

文化財修復における石州半紙の役割については、他の産地の和紙では代替出来ない特徴も有り、非常に大切である事に関係者から伺い、評価の大きさに感心致し、石州半紙の技術伝承へ努力しなければと感じました。



坂田理事長と修復の現場



国宝修理装演師連盟の職員